



グリーン交悠録

経営もスコアもマネジメント

日本経営合理化協会流

スコアのまとめ方

日本経営合理化協会会長 牟田 學 氏

本誌主幹 大中 吉一



大中 前回ご登場いただいたのが長年封印していたゴルフを再開された時でしたね。

牟田 故あってゴルフを封印していましたが、ちょうど再開するときに声をかけていただいたのでしたね。

大中 武士の情け、理由は何わずに参ります。牟田さんはゴルフを始めて1年でシングルになられたそうですね。

牟田 いえいえ、お聞きいただいて構いません。とにかく飛ばなくなりしました。ぜんぜん飛距離が出ない。そのことが自分自身で苦痛に思えたからです。ゴルフを始めた頃はとくにドライバーがよく飛びましたからね。

大中 まだお若い頃ですね。

牟田 ゴルフを始めたばかりの30代の頃でした。ゴルフを始めたきっかけは妻の妹のご主人、つまり義理の弟がアルプス電気の子会社の子社長だったのです。そこを訪ねた時に彼からクラブを数本貰いまして、そのままゴルフを始めました。

大中 最初にコースに出たのはどちらのでしたか。

牟田 ロサンゼルスにある「リビエ

ラ・カントリー・クラブ」です。

大中 それは名門ですね。長年「ロサンゼルスオープン（現ノーザントラストオープン）」が開催され、「全米オープン」の舞台にもなったコースです。

牟田 「ホーガンズ・アレー」と呼ばれているそうですね。

大中 歴史的名プレーヤーであるベン・ホーガンが1947〜1948年に「ロサンゼルスオープン」、「全米オープン」と連勝をしたことにちなんで彼の名前がつけられました。初ラウンドが名門中の名門だったんですね。

牟田 そういうことになりますね。たしかアイアン数本とサンド・ウェッジ、そしてパターでしたか、5〜6本のクラブを持つてのラウンドでした。

大中 いきなりドライバーを振り回さず堅実なスタートですね。事前に少しは練習場に行つたのですか。

牟田 はい、ところが練習場に行つたらまっすぐ飛ばないのです。これにはたいへんにショックを受けましてね。必死で練習しました。そして初ラウンドの時のスコアが50ちよつとだったのです。

大中 リビエラのコースは距離こそ短いですが、ショットの正確さが問われるコースです。ティーショットでフェアウェイをキープできないとスコアがまとまらないと言われるコースです。リビエラで初ラウンドをした後、帰国されても続けられたのですね。

牟田 自宅の近所に「東京よみうりカントリークラブ」がありました。まずはその練習場に通いました。

大中 いくら熱心でも、さすがに毎日から晩まで通うようなわけは行かないですね。

牟田 ですから週末には弁当を持って通いました。

大中 朝から晩までですか。1000球ぐらいは打ちますね。

牟田 いえ、もつと打ちました。

大中 それが1年間でシングルになられた秘密です。私など始めて4年でやつとハンデ14ですから。熱心さが違います。

牟田 まだ幼かった息子を連れて行きましたから、息子は自分の父親がプロゴルファーだと思つた程でした。

大中 幼い息子さんをですか。それは危ないです。



牟田 そうですが、それくらい熱心だったということでしょうね。

大中 いま日本経営合理化協会の理事長をされている太陽さんですね。そのあと日本での初ラウンドはどちらでしたか。

牟田 そのまま「東京よみうりカン トリークラブ」でした。

大中 またまた名門ですね。会員になられたのですか。

牟田 家が近かったですからね。

大中 東京よみうりカン トリークラブも「ゴルフ日本シリーズ」や「読 売国際オープン」など様々な舞台と なった名門コースです。

牟田 そうですね。

大中 それだけにあそこは難しい コースです。特に難しいのが最終の 210ヤードのショートホールです が、牟田さんはどのクラブで打つ のですか。

牟田 プロは5番アイアンですね。 私は3番アイアンが無理せずにク リーク(5番ウッド)です。それで きちんと乗ります。

大中 しかしいきなり「東京よみう りカン トリークラブ」のメンバーに なったのですか。

牟田 はい、自然な成り行きでし た。

大中 どなたかコーチはいらしたの ですか。

牟田 当時大活躍していた村上隆 プロが練習場のプロとしていらっ しゃいまして、村上さんにいろいろ と教えていただきました。

大中 それで最初のハンデはおいく つでしたか。

牟田 読売で最初にもらったハンデ は15だったと思います。

大中 それから1年でシングルです か。

牟田 1年もかかりませんでした。 その頃、日本BE研究所所長の行徳 哲男さんのご息子がプロゴルファー を目指していらつしやいまして、何 回かご一緒しました。最初の頃は何 回か勝てましたが、そのうち太刀打 ち出来なくなつてしまいました。

大中 最初の頃はゴルフというのは こんなに易しいものかと。

牟田 最初は…ですね。いまは体の 右サイドが弱くなつてしまひ飛ばな くなりました。

大中 それでしばらくクラブを置か れたのですか。何年くらいのブラン

クでしたか。

牟田 ちょうど20年です。

大中 再開されたときは何も問題 は起こりませんでしたか。

牟田 以前のように飛ばないのはわ かつていましたから、それなりにスコ アをまとめるようになりました。そ ういう意味ではまったく問題はあり ませんでした。

大中 飛ばないなりにスコアをまと めるとはどういうことでしょうか。

牟田 とにかく曲げないことです。 飛距離を稼ごうと目いっぱいスイングすれば飛距離は出るでしょうが正 確さが損なわれる。経営者の姿勢 と同じで、まじめにコツコツ、そして その場面で一番適切なクラブを選択 する。人材登用における適材適所 と同じです。

大中 牟田さんの経営塾の教えの ようですね。

牟田 ここ一番では勝負に出ますが、 基本は地道にコツコツと刻むこと で す。躍進を狙つてドライバーを振り 回してもOBでは仕方ありません。

大中 なるほど、そういう意味では リビエラで初ラウンドした時のドラ イバーなしのゴルフに戻ったわけで

すね。

牟田 そういうことになります。

大中 それでもゴルフは楽しいです ね。

牟田 びゅんびゅん振り回していた ころとはまた違った楽しみ方があり ますね。ゴルフは奥が深い。

大中 奥が深いのは、牟田さんが長 年手掛けてこられた、日本経営合理 化協会における経営塾や無門塾の 教えと同じですね。

牟田 そう言うことになりますか。

大中 そうですとも。牟田さんが 旗揚げされた日本経営合理化協会 が50周年、牟田さんのゴルフも20年 のブランドを含めればおよそ50年、 考えれば長いですね。

牟田 中小企業の窮状を見るに見 かねてスタートしましたが、その方 面での大中さんのお付き合いも長 いです。

大中 ゴルフでのお付き合いもです。 せっかく再開されたのですからまた 一緒にラウンドしましょう。

牟田 そうですね。ぜひお願いいた します。

大中 必ずですよ。今日はありが とうございました。